

ふるさとの 其の23 誉り

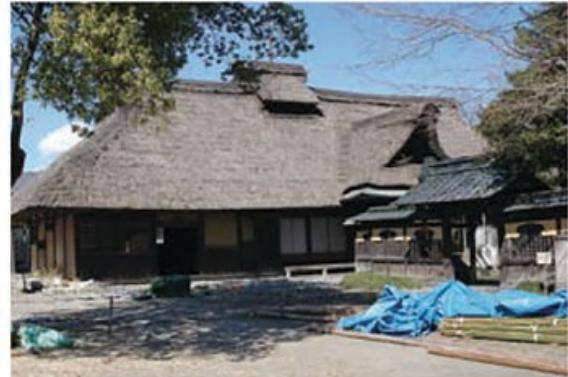
祝二〇〇歳 安藤家住宅
リニューアル オープン！

甲西地区西南湖の細い道に囲まれた一角に佇む安藤家住宅。今からちょうど300年前、宝永5年（1708）に建てられた重要文化財です。

前回の保存修復工事から20年が経過し、建物等の傷みが目立つようになつたため、平成18年度～19年度にかけて修復を行いました。

修復前の主屋、長屋門の茅葺屋根は、茅を押さえる役目をする押鉢竹^{おさよひたけ}が露出するなど傷みが激しかったのですが、今回の修復で綺麗になりました。その他にも、樹齢が300年を超えるといわれる市指定天然記念物「避雷針の松」の根が成長し、渡り廊下を持ち上げていました。根をいためないよう注意しながら渡り廊下の修復を行いました。他にも腐食した板塀、漆喰や瓦等を修復しました。

ところで安藤家住宅の誕生日がどうして分かったのでしょうか。それは、当時の「棟札」^{むきじか}が残されていましたから



葺き替え前の安藤家住宅



葺き替え後の安藤家住宅



板塀の修復風景



主屋の葺き替え風景



茅葺に使う道具



棟札

です。建物の建築や修築のとき、柱などに取り付けられたもので、大工さんや家の主人が、家内安全や無病息災を願って作られた木の札です。安藤家の場合はこの棟札に宝永5年と書かれています。

お知らせ

4月26日より一般公開しています。安藤家の古い写真や修復風景、端午の節句飾りや約9mの鯉のぼりを展示しています。

開館時間 午前9時から午後4時30分
(最終入館は午後4時)
入館料 大人 300円
小・中・高校生 100円
休館日 毎週火曜日

前年の宝永4年には宝永の大地震が起つて、その後富士山が最後の噴火（宝永の噴火）をしています。このとき、江戸まで火山灰が届きましたが、甲府盆地側はほとんど影響を受けなかったそうです。元禄15年（1703）には忠臣蔵で有名な赤穂浪士の討ち入りが起きています。